

小金井市各立公立保育園における散歩実施状況について

くりのみ 保育園

年齢 (定員)	時期	頻度	行き先	職員引率数	工夫していること	その他 ex. 散歩に関する悩みや体制上散歩に行けなかったこと等の理由
0 歳 (9)	春	GW明け～行けたら毎日	園周辺	3～4名	生活リズムを優先して無理をしない。バギーで散歩に行く。シートを持参し、散歩先でシートの上で外気浴したり、体を動かして遊ぶ。	1人1人の生活リズムがため、散歩に出にくい。
	秋	週3～4回 週1～2園庭	園周辺・原っぱ・東センター隣の公園・木馬公園・新小金井駅周辺や商店街	3～4名	ワゴンに乗る子と、靴をはいて歩く子がいるので近場にする。ワゴンに載る子と靴を履いて歩く子と交代にする。公園内の安全確認をし、ゴミを拾う。	ワゴンから降りてのびのびと遊べる所が少ない。
	冬	週3～4回 週1～2園庭	上記 + シーソー公園・山鳩公園	3～4名	引っかきやかみつきを防げるようワゴンのメンバーに配慮する。公園から出ないよう見守る。	全員が歩くようになってくるので、大人の見守りが大事。
1 歳 (12)	春	午前週3回 夕方毎日	駅前広場・木馬公園・栗山公園・山鳩公園 東小金井駅周辺・いちご橋・パンダ公園	午前3名 夕方2～3名	近い公園に行く。ワゴンに載る子と靴を履いて歩く子と交代にする。ワゴンに輪をつける。手つなぎや歩きやすい道を選ぶ。場所に慣れる。	手つなぎ歩きをさせたいが、大人の手が足りないため、ワゴンでの散歩が多い。
	秋	午前週3回 夕方毎日	上記 + 梶野公園	午前3名 夕方2～3名	歩く子は交代する。木陰の多い場所。手つなぎ歩きしやすい道。夏は毛虫や蚊が少ない公園に行く選択をする。	身長が高くなり、ワゴンから身を乗り出すと危険なので、特に気をつけている。
	冬	午前週3回 夕方毎日	上記 + 野川	午前3名 夕方2～3名	ワゴンは使わず、手つなぎして歩きやすい道を散歩する。日陰の寒い場所や、霜などでどろどろな場所は避ける。	
2 歳 (16)	春	週3回くらい	木馬公園・栗山公園・原っぱ・山鳩公園・連雀通り	3～4名	壁側を歩く。手を離さない。前の子との間をあけない。歩行力に合わせて、並ぶ順番や手をつなぐ相手を配慮する。	4月は新入児の慣らし保育のため、近くの公園に行く。
	秋	週3回くらい	上記 + 団地公園・野川	3～4名	公園によっては、砂場用遊具を持っていく。	担任が延長番（10：15勤務）の時は、慣れていない場所や遠出はせず、近くの公園に行く。
	冬	週3回くらい	上記	3～4名	歩行力がついてくるので、遠出の散歩に出かける。	
3・4・5 歳 (異年齢保育) (23. 23. 24名)	春	週2～3回	園周辺・原っぱ・栗山公園・梶野公園・山鳩公園・東センター隣の公園・ガラガラドン公園・野川	1クラス2名又は2クラス3名+障がい児1名に付き1名	新入児がいるので、近場から行く。歩行力にあわせ、無理のない距離を歩く。3歳と5歳で手をつなぐようにする。暑くなってきたら、水分補給のために水筒を用意してもらっている。年齢別で散歩に出かけることもある。	大きな公園が近づくにつれて、足をのびて行くが、他園とかさなってしまうことが多く、着いてから行き先を変えなければならなかった。
	秋	週2～3回	上記 + くじら山	1クラス2名又は2クラス3名+障がい児1名に付き1名	夏を超え体力もついてきた頃なので、遠出の散歩を意識している。	担任が延長番（10：15勤務）だと、パート職員との引継ぎもあるので、遠出はできない。
	冬	週2～3回	上記 + 東小金井駅周辺	1クラス2名又は2クラス3名+障がい児1名に付き1名	凧あげ、ボールなどを持っていく。5歳児が卒園となるので、3. 4歳児で手をつないで、しっかり歩けるようにする。	行事（お店屋さんごっこ、劇場など）が入ってくると遠出の散歩には行きづらい。

主な行事予定	春	夏	秋	冬
	入園・進級の日 こどもの日の集い 春のピクニック・懇談会	プール開き お泊まり保育		くりのみまつり・秋の遠足・懇談会・プレーデー・芋掘り・ミニアップル劇場・焼き芋